



しあわせ信州

長野県森林づくり県民税

～飯田・下伊那地域の森林税を活用した取組
のご紹介です。～

平成20年度に導入された「長野県森林づくり県民税」（森林税）は第一期（5年間）が終了し、今年で第二期（平成25～29年度）の3年目となっています。

引き続き、森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくための森林づくりに活用されています。



長野県

下伊那地方事務所 林務課

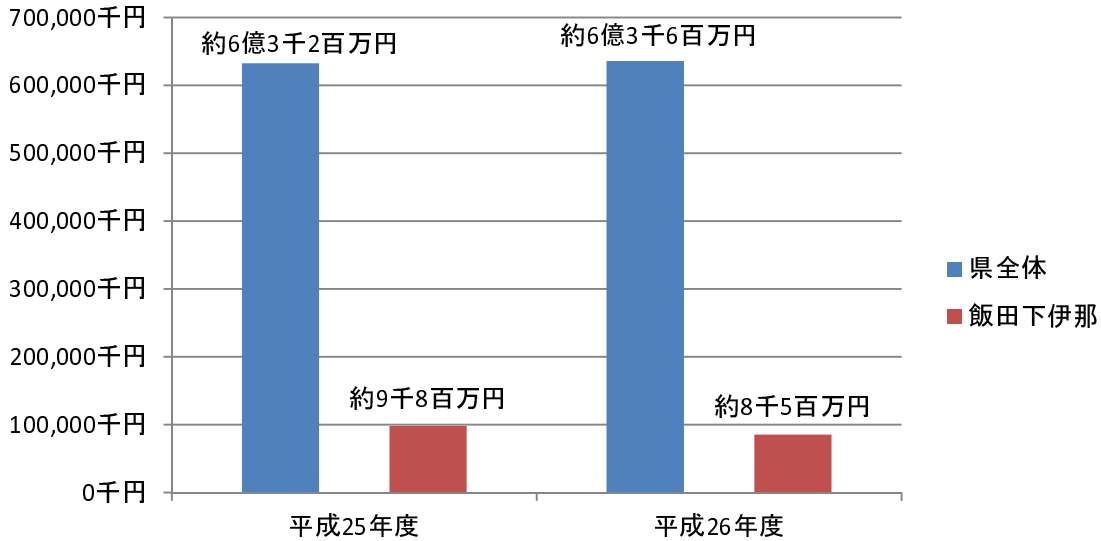


第67回 ひと ゆめ みどり
信濃から 未来へつなぐ 森づくり
全国植樹祭 ながの 2016

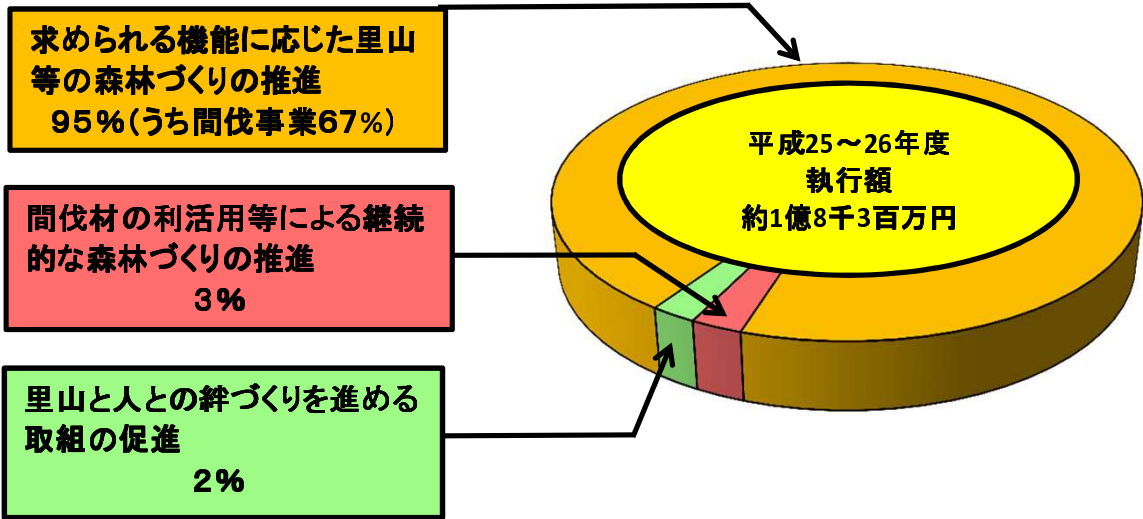
1

飯田・下伊那の森林税の実績と使い道

● 第二期の2年間(平成25～26年度)で約1億8千3百万円が森林づくりに活用されました。



● 森林税の主な使い道は第一期に引き続き「手入れの必要な里山の間伐の推進」で全体の67%を占めています。



2 飯田・下伊那の森林税活用事業の概要

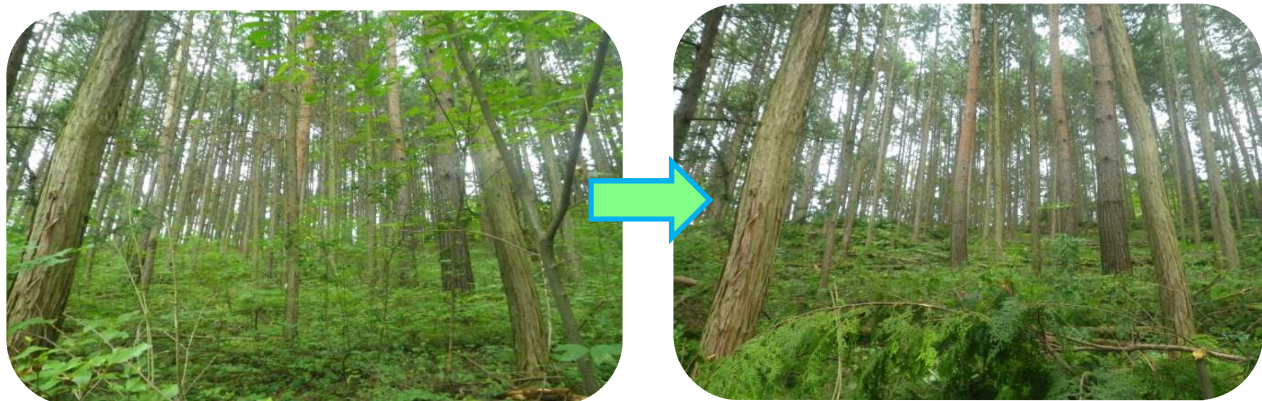
- 飯田・下伊那地域では、2年間(平成25～26年度)で下記の森林税活用事業が実施されました。

区分	事業名		平成25～26年度
活用事業1	求められる機能に応じた里山等の森林づくりの推進		174,900
	みんなで支える里山整備事業(間伐支援)	間伐面積(ha) 執行額(千円)	909 122,800
	地域で進める里山集約化事業	集約化面積(ha) 執行額(千円)	627 9,400
	森林づくり推進支援金	市町村数 執行額(千円)	14 42,700
活用事業2	間伐材の利活用等による継続的な森林づくりの推進		4,400
	みんなで支える里山整備事業(搬出支援)	材積(m ³) 執行額(千円)	406 1,400
	信州フォレストコンダクター育成事業	人数(人) 執行額(千円)	2 500
	信州の木活用モデル地域支援事業	件数(件) 執行額(千円)	1 2,500
活用事業3	里山と人との絆づくりを進める取組の促進		3,900
	みんなで支える森林づくり推進事業	執行額(千円)	700
	木育推進事業	支援活動数(件) 執行額(千円)	16 2,600
	里山利用総合支援事業(平成26年度まで)	地域数 執行額(千円)	2 600
合計		執行額(千円)	183,200

3 求められる機能に応じた里山等の森林づくりの推進

- 2年間で、約910haを間伐しました。

手入れの遅れた集落周辺の里山において、地域ぐるみの間伐等森林整備の推進を行います。また、市町村が行う地域の実情に応じたきめ細かな森林づくりの取組を支援しています。



間伐実施前後の状況(飯田市)

4 間伐材の利活用等による継続的な森林づくりの推進

● 2年間で、約410m³の間伐材を搬出しました。

間伐材の利活用の促進とそのための間伐材の搬出、森林管理から木材の出荷・利活用までを総合的に指揮できる人材の育成等に一体的に取り組み、各地域の特色を活かした継続的な森林づくりモデルの構築を推進しています。

信州の木活用モデル地域支援



どこでも足湯(根羽村)

間伐材搬出支援



飯田市南信濃



飯田市下久堅

5 里山と人との絆づくりを進める取組の促進

里山の様々な森林資源を活用する地域の主体的な取組、住民・企業等の森林づくりへの参加や木材利用を促進する取組、森林税活用事業の検証や広報・普及啓発を進め、里山と人との絆づくりの取組を促進しています。

木育の推進



喬木村立喬木第二小学校

「プランター台製作」
地域の木工さんの指導により、間伐材の搬出や皮むきを実施し、プランター台を製作しました。

里山利用の支援



「竹林整備及びその利用」
荒廃した竹林を整備し景観や環境の改善を図ると共に、里山資源であるたけのこの発生を促進し、生産されたたけのこを出荷して学校給食等で利用することにより、地域の活性化を図りました。



飯田市立千代小学校

「炭焼き」
地域で製炭技術者の指導により、地域を支えてきた産業「炭焼き」を体験し、森林・林業について学習し、地域を大切にする心を育てました。

森林税に関するお問い合わせはこちらまで

○森林税を活用した森林づくりに関すること

長野県下伊那地方事務所 林務課

電話 0265-53-0423 電子メール shimochi-rimmu@pref.nagano.lg.jp

○森林税のしくみに関すること

長野県庁 総務部 税務課

電話 026-235-7048 電子メール zeimu@pref.nagano.lg.jp